

回																			
覧																			

地域のみなさまへ～ 根岸製油所からのお知らせ

# JX グリーン ファクトリー



第138号

2011年  
11月25日(金)

JX日鉱日石エネルギー株式会社 根岸製油所  
〒235-0006 横浜市磯子区鳳町1-1 電話045-757-7111(代)

<http://www.noex-jx-group.co.jp/company/about/gaiyou/jieyousho/negishi/index.html>

## 大容量泡放射システムの訓練を行いました

11月7日(月)から4日間にわたり、当所において、神奈川・静岡広域共同防災協議会による大容量泡放射システムの訓練が実施されました。

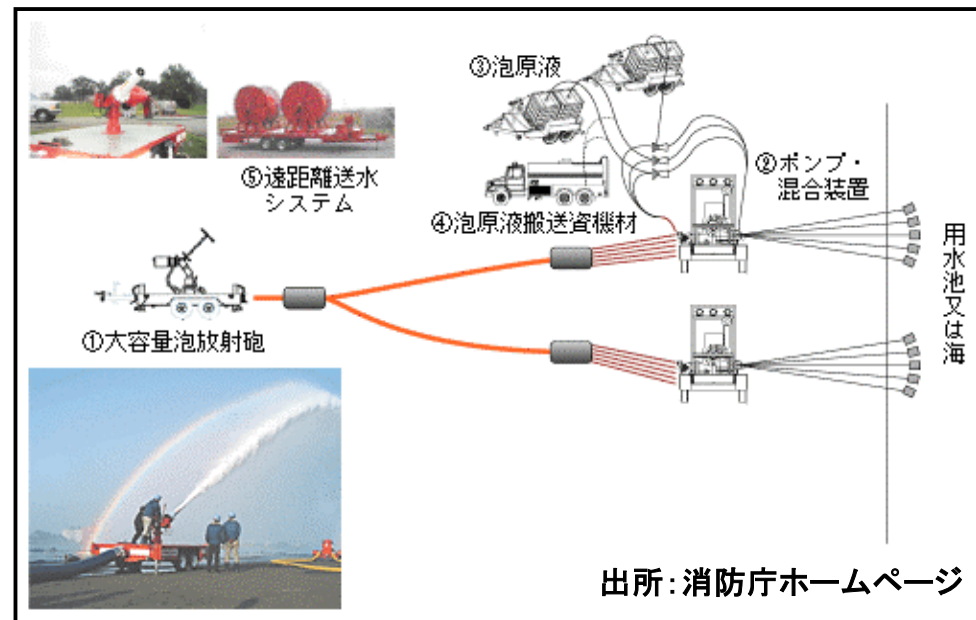
大容量泡放射システムは、主として大型(直径34㍍以上)の浮き屋根式石油タンクの全面火災の消火に用いることを想定した消火設備です。

この大容量泡放射システムでは、泡原液を水と一緒に液状のまま放射し、空中で空気を吸い込んで発泡させるため、大量の泡を遠くまで放射することが可能となっています。具体的には、毎分5万㍍の放射能力(通常の消防車約15台分)を有し、120㍍(同70㍍)遠方の火災の消火が可能となっております。

万が一、浮き屋根式タンクでの全面火災が発生した場合でも、短時間での消火を可能にするシステムです。当所では静岡・神奈川両県の企業と共同で同システムを導入し、2008年12月から運用を開始しております。

当日の参加者は、同システムの操作に関して習熟を図るとともに、日々の安全に対する意識を高めました。

【大容量泡放射システムの概要】



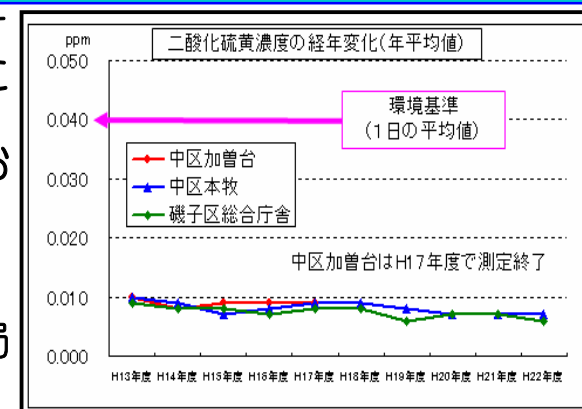
【放射訓練の様子】



## 製油所周辺における大気環境の推移

横浜市では、市内における大気状況を把握するために学校や住宅地周辺、幹線道路沿いなどに測定局を設置し、各種汚染物質濃度を常時測定・監視しています。これらの中から製油所周辺における測定状況について、お知らせいたします。

右図は製油所周辺の過去10年間推移(横浜市ホームページに公開)です。当所周辺の各測定局における二酸化硫黄および二酸化窒素の過去10年間の年平均濃度は、各局とも環境基準(1日の平均を大きく下回り、減少傾向にあります。



【公開アドレス】

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/mamoru/kanshi/>)

## 「CSRレポート2011」の発行について

JXグループでは、CSR(企業の社会的責任)活動について、「JXグループの理念」、「JXグループ行動指針」をメインテーマとした報告書を発行しております。今般、当グループとして2冊目となる「CSRレポート2011」を発行いたしました。

本年度版は、3月に発生しました東日本大震災の当グループへの影響と対応状況についてご報告するとともに、当グループの経営理念の実現と社会的課題の解決に向けての事業展開について、分かりやすくまとめられております。

内容は当グループホームページにも掲載されていますので、是非ご覧下さい。

【JXグループ ホームページ】

<http://www.hd.jx-group.co.jp/csr/report/>

## 第82回都市対抗野球大会 ～結果ご報告～

10月末に行なわれました第82回都市対抗野球大会に、当社の野球チーム・JX-ENEOS野球部が横浜市代表として出場いたしました。結果は、健闘するも一歩及ばず初戦敗退となりました。

本年は東日本の電力事情に鑑み、大阪での開催となりました。来年は例年通り東京ドームでの開催を予定しております。

今後ともJX-ENEOS野球部に、暖かいご声援賜りますようお願い申し上げます。

本紙に関するお問い合わせは 根岸製油所総務グループ TEL: 045-757-7111